

**常に変革し
持続的に成長する
企業を目指してまいります。**



平成28年12月

代表取締役社長 **阿部 茂雄**

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第115期上半期（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）の決算を行いましたのでご報告申し上げます。

■経営環境について

当社グループを取り巻く経営環境は、IT化の進展による紙媒体の需要減少に加え、受注単価の下落が続くなど、依然として厳しい状況が続きました。

■業績について

当上半期の業績につきましては、売上高85億15百万円（前年同期比1.8%増）となり、損益面では営業利益2億25百万円（前年同期比103.3%増）、経常利益2億52百万円（前年同期比114.7%増）、親会社株主に帰属する中間純利益1億45百万円（前年同期比146.9%増）となりました。

セグメント別の業績では、印刷事業におけるチラシ・POPの増加並びに電子部品製造事業における車載用静電容量タッチパネル製品等の増加などにより、印刷事業、電子部品製造事業が前年同期に対して増収となり、損益面でも改善しました。不動産賃貸等事業は減収減益となりました。

■当社の取り組みについて

印刷事業では、上流工程から周辺領域を取り込んだ提案により、チラシやPOPなどの受注獲得につながっております。従来の枠組みの中だけでなく、ソリューションサービスの提供による営業活動にシフトしており、お客様同士の間を結び付ける提案など徐々にその成果も出てきております。一時的なものにならないように、流通

チャンネルの囲い込みから販促代行に至るまでサービスを拡大し、更なる受注拡大に努めてまいります。

体制面では、重点顧客に対する営業部員の重点配置を行うとともに、生産部門・プリプレス部門が営業をバックアップする体制を敷きました。生産部門は、内製化率の向上とリードタイム短縮による生産性向上、コスト圧縮などの施策を引き続き推進することで利益確保に努め、新たに検査装置を増設して機械化による一層の品質向上を図っております。

電子部品製造事業につきましては、車載用静電容量タッチパネル製品等の需要が拡大しております。今後は新たな得意先の獲得に注力することに加え、歩留まり向上や固定費の削減を継続し利益の確保に努めます。また、これまで培ってきた印刷技術によりカーボンナノチューブ透明導電膜の微細パターンニング技術を開発し特許を取得しましたので、幅広い用途へと展開していく予定です。

■今後の見通しについて

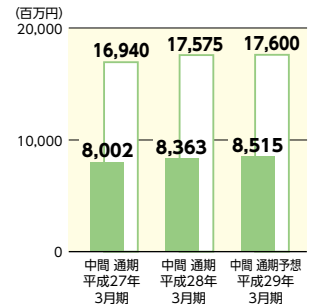
当社グループを取り巻く市場環境は、引き続き厳しい状況が続くと見ております。印刷市場縮小の中ではありますが、一層の業績拡大を図るための事業戦略を策定、実践し、グループ全体での持続的成長・発展を引き続き目指してまいります。

なお、当事業年度の期末配当は1株につき5円とさせていただきます。

今後とも、皆様のご期待にお応えできるように、社員全員で一丸となって取り組んでまいりますので、引き続き倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますよう、ひとえにお願い申し上げます。

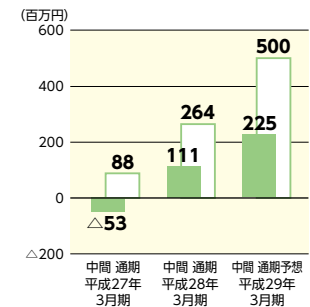
■売上高

8,515 百万円



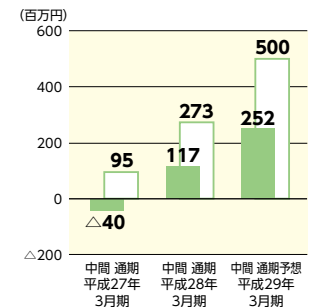
■営業利益

225 百万円



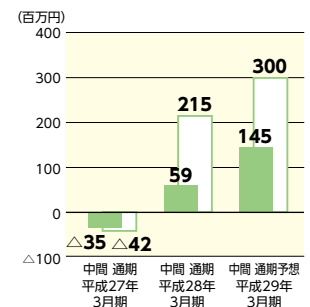
■経常利益

252 百万円



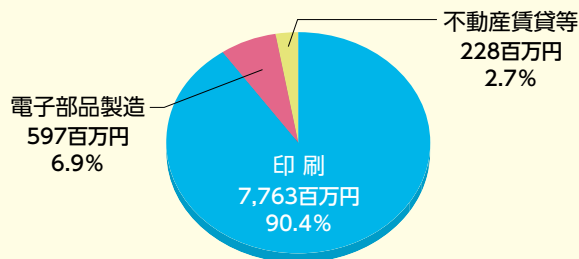
■親会社株主に 帰属する 中間純利益

145 百万円



セグメント別業績

■売上高構成比

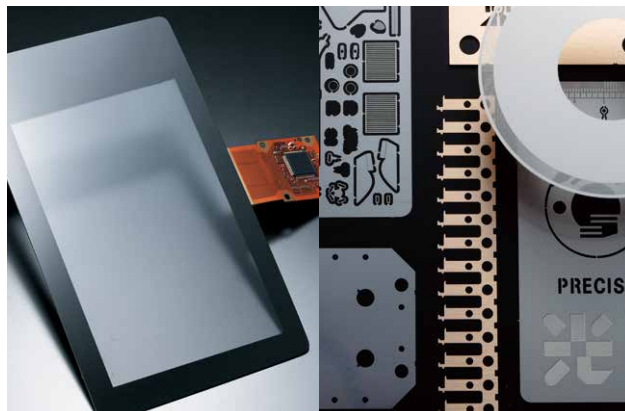


印刷



当社グループのメイン事業で、読売新聞社の朝夕刊をはじめ、宣伝用印刷物や伝票、出版物の印刷を行っています。当上半期は、得意先のキャンペーン用チラシやPOPなど宣伝用印刷物の売上増加等により、売上高は77億63百万円(前年同期比1.4%増)、セグメント利益(営業利益)は1億61百万円(前年同期比75.3%増)となりました。

電子部品製造



当事業ではカーナビ用のタッチパネルや、エレクトロニクス製品で使用される精密な金属部品等を製造しています。当上半期は、車載用静電容量タッチパネル製品等の売上増加により、売上高は5億97百万円(前年同期比8.9%増)、セグメント損失(営業損失)は1億2百万円(前年同期は1億56百万円の損失)となりました。

不動産賃貸等

当事業では本社ビルなど一部不動産をテナントへ賃貸を行っているほか、太陽光発電事業を行っており、安定した収益をあげています。当上半期の売上高は2億28百万円(前年同期比2.9%減)、セグメント利益(営業利益)は1億67百万円(前年同期比4.5%減)となりました。

新規開発案件のご紹介

当社では、カーボンナノチューブ(以下 CNT)の透明導電膜を微細パターン加工する技術、及びレリーフ模様を網点で構成して、複写物上に隠し文字を現わす偽造防止印刷技術を、それぞれ開発しました(各々特許取得済み)。

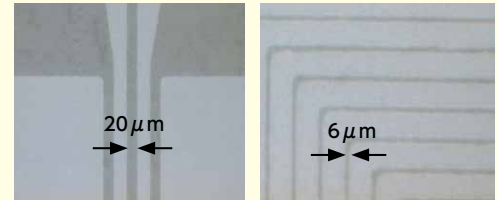
今回は、CNT 透明導電膜微細加工技術について株主の皆様へご紹介します。

CNTは、炭素原子が網目のように結びついて円筒中空状になった結晶体です。高い導電性を持つとともに堅牢性、耐薬品性にも優れ、何より曲げに強い特性があり、ウェアラブルデバイス等のフレキシブル表示媒体等への回路に利用できるため、現在ディスプレイやタッチセンサーの透明電極として一般的に使用されているITO(酸化インジウムスズ)の代替材料として、近年注目されています。

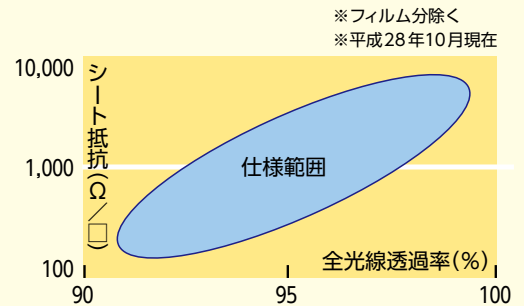
当社が開発した技術は、これまでは微細加工が難しいとされていたCNTの透明導電膜を、フォトリソ方式で $20\mu\text{m}$ (0.02mm)以下の回路も形成可能とする加工技術です。将来的にはCNT回路形成におけるスタンダード技術としていくことを目指しています。

加工例と導電膜特性イメージ

微細パターン拡大写真



電気的特性仕様(イメージ)



CNT回路形成工程 イメージ図

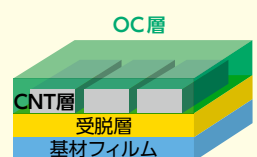
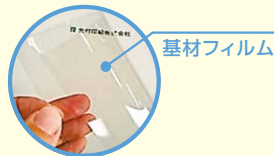
①基本構成図

②レジストパターン形成

③非画線部CNT層除去

④レジスト剥離

⑤オーバーコート(OC)塗布



会社概要

(平成 28 年 9 月 30 日現在)

商号 光村印刷株式会社
創業 明治34年10月20日
設立 昭和11年12月21日
資本金 56億788万円
従業員 単体606名、連結764名

■事業所



本社

本 社
〒141-8567
東京都品川区大崎一丁目15番9号
電話：03-3492-1181（代表）

大阪支店
〒541-0056
大阪市中央区久太郎町一丁目3番9号
三菱紙販ビル7階
電話：06-6266-5801

名古屋支店
〒460-0003
名古屋市中区錦三丁目7番9号
太陽生命名古屋第2ビル6階
電話：052-951-0621

川越工場
〒350-1165
埼玉県川越市南台一丁目1番地1
電話：049-242-4025

草加工場
〒340-0013
埼玉県草加市松江五丁目2番31号
電話：048-935-1201

那須工場
〒324-0036
栃木県大田原市下石上1378番7
電話：0287-29-2610



川越工場



草加工場



那須工場

■役員

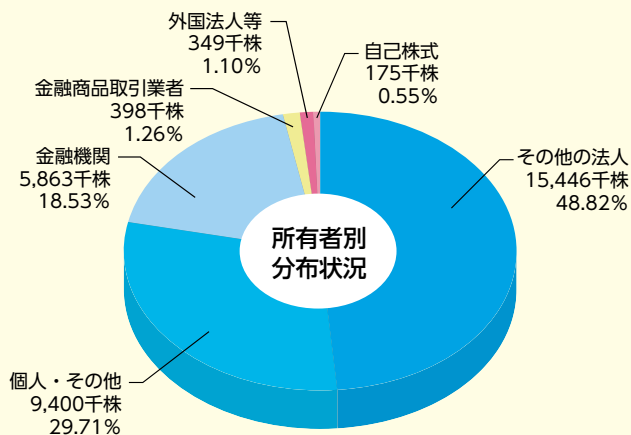
取締役会長	二 瓶 春 樹
代表取締役社長 (社長執行役員)	阿 部 茂 雄
取締役 (常務執行役員)	齋 藤 淳 一
取締役 (上席執行役員)	嶋 山 芳 夫
取締役	北 條 文 雄
社外取締役	柴 崎 憲 二
社外取締役	川 名 光 治
常勤監査役	久 富 祥 一
社外監査役	齋 藤 剛
社外監査役	半 田 常 彰
常務執行役員	吉 崎 久
執行役員	柳 沢 一 則
執行役員	辻 明 成
執行役員	檜 垣 浩
執行役員	谷 川 隆 治
執行役員	石 川 浩 之

(注) 取締役北條文雄氏は、当社子会社群馬高速オフセット株式会社の代表取締役社長を兼務しております。
当社は、社外取締役柴崎憲二、川名光治及び社外監査役齋藤剛の3氏を、東京証券取引所の定めに基づく独立役員に指定しております。

■関係会社

株式会社光村プロセス
株式会社城南光村
光村商事倉庫株式会社
株式会社メディア光村
株式会社大洲
群馬高速オフセット株式会社

発行可能株式総数 99,478,000 株
 発行済株式の総数 31,634,203 株
 単 元 株 式 数 1,000 株
 株 主 数 2,945 名



大株主

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
三菱製紙株式会社	5,117	16.26
DIC株式会社	4,570	14.52
株式会社読売新聞グループ本社	2,246	7.13
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,127	3.58
株式会社SCREENホールディングス	1,000	3.17
株式会社十六銀行	666	2.11
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	543	1.72
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	505	1.60
三菱UFJリース株式会社	488	1.55
株式会社みずほ銀行	450	1.43

(注) 1. 持株比率は、自己株式 (175,923 株) を控除して計算しています。

2. DIC株式会社の所有株式は、同社が退職給付信託の信託財産として掲出しているものです。
 (株主名簿上の名義は、「日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・DIC株式会社口)」です。)

株主優待カレンダーのご紹介

世界の美術館をテーマに展開する当社オリジナルカレンダー。平成29年はスペインの首都マドリッドからプラド美術館の作品をお届けします。

プラド美術館は、大航海時代におけるスペイン王家の繁栄を映す世界有数のコレクションを誇り、スペイン3大画家の絵画作品に加え、ルネサンス絵画やフランドル絵画なども質、量ともに充実しています。

この度は同館の膨大な所蔵作品のなかから、ベラスケス、ゴヤ、エル・グレコ、レンブラント、ルーベンスなどの選りすぐりの絵画作品を中心に展開します。

カレンダーは9月30日現在、1,000株以上ご所有の株主様に12月中旬にお届けします。

株式事務のご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
剰余金配当の基準日	3月31日および中間配当の 支払を行うときは9月30日
定時株主総会の基準日	3月31日
定時株主総会の開催	毎年6月
公告の方法	電子公告 (http://www.mitsumura.co.jp/) ただし、やむを得ない事由により電子 公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人 同連絡先	三菱UFJ 信託銀行株式会社 三菱UFJ 信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
特別口座の口座管理機関 同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-782-031 (通話料無料)

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座を開設されている証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

